



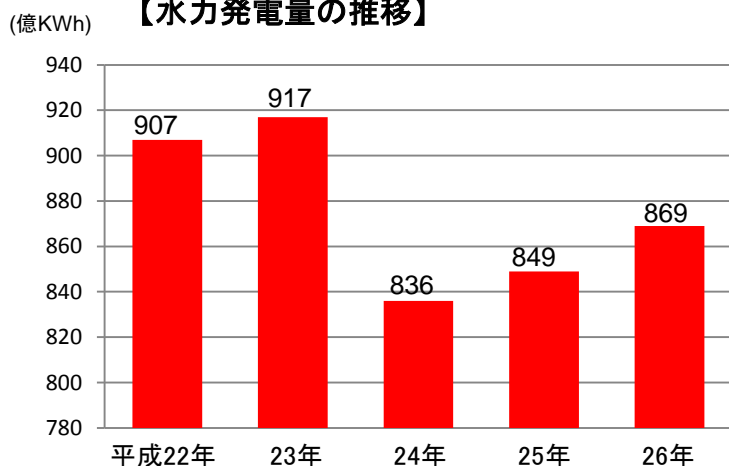
原発に頼らない社会を！ Part II 水力発電の活用

何しろ原発ゼロを目指すならば、国内にあるエネルギー資源を最大限活用するしかありません。前号は、豊富な森林資源を用いた「木質バイオマス」の効用に触れました。

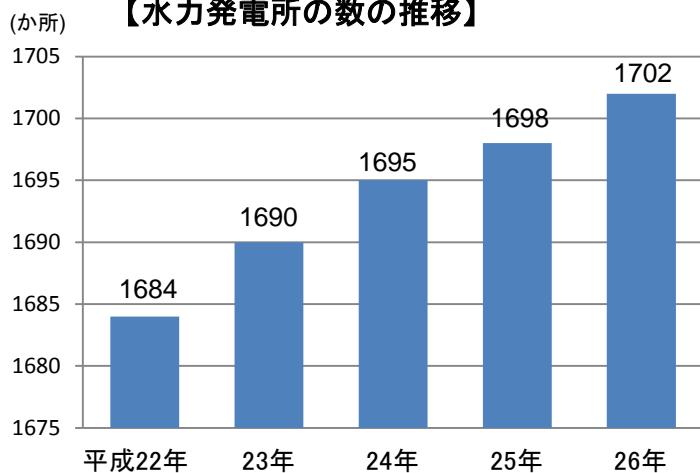
今回はダムに象徴される水力発電。日本には無尽蔵ともいえる多量な水が蓄えられておりますので、これを活用しない手はないでしょう。既存のダムを有効に使えば、全発電量の25%にまで高めることが出来るとのこと。（現在9%程度）

法を見直し、ダムにおける水量を弾力的に調整することや、ダムの高さを10%嵩上げすることによって、その発電量は倍以上になるようです。発電に使われていない砂防ダムや農業用水路に対する、「小水力発電」も魅力的と言えましょう。

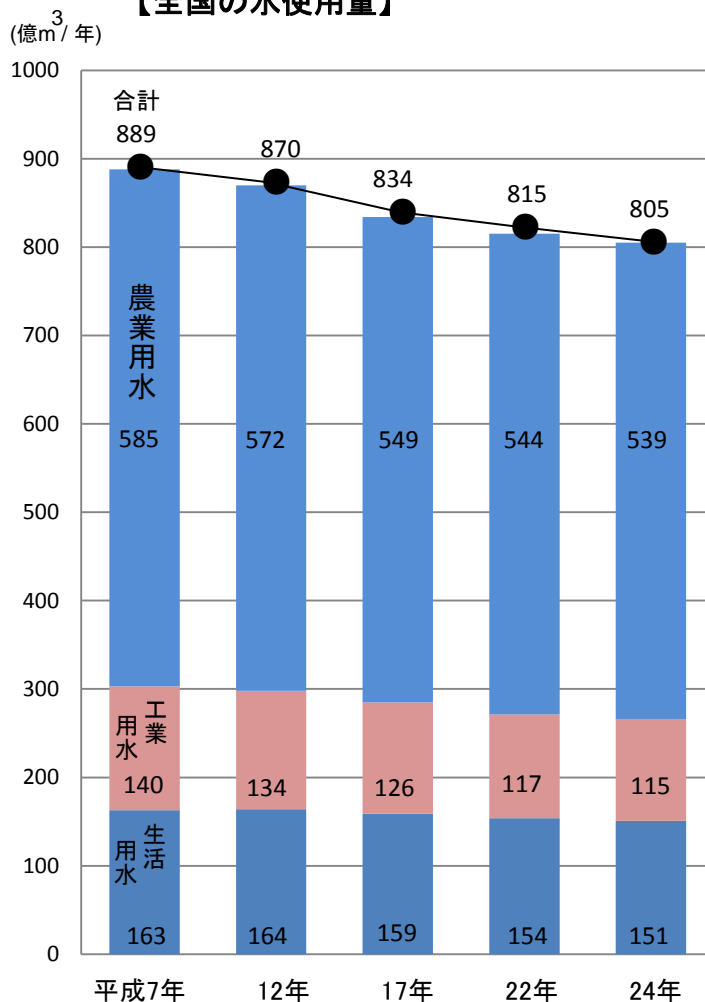
【水力発電量の推移】



【水力発電所の数の推移】



【全国の水使用量】



「逆転の年」
 二〇一七年は激動の年になる兆候がうかがえる。中東情勢は泥沼化し、移民・難民問題が世界を揺るがしている。また、国際社会はトランプ次期米大統領の発言にもみられるように、内向き傾向に走っているようだ。国内では自民一強、数の力学で、原発や武器輸出の決定など収益至上主義を優先的に進めたが、主力のアベノミクスは失敗した。赤字国債を追加発行し、借金大国を助長するのは無策と言わざるを得ず、経済政策の次の一手が見えてこない。
 二〇〇九年の政権交代の再来に向け、期待と希望を持って、新年に逆転の夢を託したいと思う。そのためにも、なお一層水戸議員を応援していきたい。

水戸応援団
 Mチーム 益田正廣

今月の
 水戸まさし応援団

- ◆HP 「水戸将史」で検索
- ◆メール kickoff310@yahoo.co.jp
- ◆Face book 「水戸将史」で検索
- ◆Twitter @mito_kickoff
- ◆メルマガ 登録はHPから

- ◆国会事務所
 〒100-8982
 東京都千代田区永田町2-1-2
 衆議院第二議員会館601号室
 TEL:03-3508-7027 FAX:03-3508-3827

- ◆地元事務所
 〒245-0008
 横浜市泉区弥生台26-6
 TEL:045-814-3001
 FAX:045-814-3007